

News Release

【報道関係各位】

2011年1月17日

セント・ジュード・メディカル株式会社

OCT技術(光干渉断層法: Optical Coherence Tomography)

セント・ジュード・メディカル株式会社から販売開始

～ステント最適化技術を加え、セント・ジュード・メディカルが
日本で提供する診断製品ポートフォリオが拡大～

セント・ジュード・メディカル株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:ウィリアム・フィリップス、以下、同社)は、血管内OCTイメージングシステム、Helios オクルージョンバルーンカテーテル、および血管内OCTイメージワイヤーの販売を開始いたしました。同社の販売する血管内OCTイメージングシステム、Helios オクルージョンバルーンカテーテル、および血管内OCTイメージワイヤーは、LightLab Imaging社(米国)が開発した製品です。LightLab Imaging社の製品はこれまでは株式会社グッドマン(以下、グッドマン)を通じてのみ日本国内へ供給されておりましたが、セント・ジュード・メディカル(米国)がLightLab Imaging社を昨年買収したことにより、日本向けに冠動脈用OCTを製造する企業となり、2011年からは同社および株式会社グッドマン、双方からの流通ルートで販売されます。

OCTは次世代型冠動脈画像技術として医師の心血管疾患診断や治療を支援するもので、冠動脈ステント選択の際やステント留置後の病変部血管内断層像情報取得を目的として日本の循環器内科医師の多くに使用されています。

OCT技術では、近赤外線を用いて、従来の冠動脈イメージング法(透視や血管内超音波/IVUS)などよりも高品質の画像を得ることができ、これまでより明確に冠動脈疾患を評価することができます。この技術により、医師は従来の画像技術では可視化による観察が不可能、あるいは困難であった重要な血管内腔及び血管壁表層を確認し、病変部に関する様々な測定をすることができます。さらに、画像は従来の血管内超音波診断の10倍程度の解像度で処理が行われます。

このように高解像度の画像を提供することにより、病変の範囲、血管サイズ、構造などを正確に測定することができ、医師が冠動脈ステントを選択するための支援をします。さらに、OCT技術により医師はステント留置後の情報をより詳細に得ることで適切な治療を行うことができ、血管形成術の再施行というリスクを最小限にとどめることが期待できます。フォローアップ診断においては、OCT技術により血管内膜の詳細な情報、また血管再狭窄が発生していないかについて精査することができます。

OCT製品の直販ルートを開始することは、同社の販売網を整備し、医師に対するサービスレベルを向上させることに他なりません。OCTは、市場をリードする同社のPressureWire™冠血流予備量比(FFR)測定技術を補完するものとなっています。FFR測定により、冠動脈における狭窄の度合を判断するための情報を提供でき、医師はどの病変(血流を阻害している血管狭窄)が患者様の心筋虚血(血管狭窄による心筋への血液供給不足)の原因となっているかを特定することができます。FFRを指標とした多枝冠動脈疾患の治療は、血管造影のみを指標とした治療と比較して、2年後の死亡または心臓発作のリスクが34%低減されるとの研究報告があります。

「当社は、素晴らしいステント最適化の技術であるFFRおよびOCTの双方を当社独自の流通ルートを通して販売できるようになったことをうれしく思っております。この両技術を含んだプロダクトポートフォリオを市場に提供するのには、日本では当社が初めてであり、今後の製品と合わせ、今後も心血管疾患診断市場に全力で取り組んでまいります。」と同社、代表取締役社長、ウィリアム・フィリップスは述べています。

現在、日本で利用可能な冠動脈イメージング用OCTシステムは、セント・ジュード・メディカル(米国)が同社を通じて提供する技術のみとなっております。

なお、グッドマンとの併売については、お問い合わせや各種ご対応の点でお客様方へのご迷惑とならないように、同社とグッドマンで協調し進めています。

セント・ジュード・メディカル(米国)について

セント・ジュード・メディカル(米国)は世界中の心臓病、神経系および慢性疼痛の患者様の治療に当たる医療従事者の方々が優れたコントロールを手にすることができるよう、医療技術とサービスを開発しています。セント・ジュード・メディカルはリスクを可能な限り軽減すること、そして全ての患者様の治療の成功に貢献することを通じて、医療の発展に全力で取り組みます。セント・ジュード・メディカルは、米国ミネソタ州セントポールに本社を置き、「カーディアック・リズム・マネジメント」、「心房細動」、「心臓血管」、および「ニューロ・モジュレーション(神経系)」の4つの分野に注力しています。セント・ジュード・メディカルの詳細については<http://www.sjm.com/>をご覧ください。

将来の見通しに関する記述

このプレスリリースには、1995年私的証券訴訟改革法の意味する、リスクや不確実性等の将来に関する記述が含まれる場合があります。このような将来の見通しに関する記述には、潜在的な臨床的成功、見込まれる当局の承認や将来の製品発売、予測される収入、利益、収益、市場シェア等、セント・ジュード・メディカル(米国、以下SJM Inc.)の期待、計画および見通しが含まれます。SJM Inc.による記述は、経営陣の最新の予測に基づいたものであり、実際の結果が将来に関する記述に記載された内容とは大きく異なるような特定のリスクや不確実性に影響されることがあります。これらのリスクや不確実性には、SJM Inc.の支配の及ばない市場の状況やその他の要因のほか、2010年10月2日に終了した第1四半期に関する同社の10-Q四半期報告書の「リスク要因および注意書き」の項に記載されたもの等、SECへのSJM Inc.の報告書に記載さ

れたリスク要因やその他の注意書きが含まれます。SJM Inc.は、これらの記述を更新する意図はなく、またいかなる状況においてもそのような更新を特定の者に対して提供する義務を負うものではありません。

【本件に関する報道関係者のお問合せ先】

セント・ジュード・メディカル株式会社
セールス・マーケティング統括室
PR マネージャー
山田 秀之
TEL 03-6255-5707 FAX 03-6255-5701